参考資料3-2
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
原子力科学技術委員会（第26回）
R3.5.19

施策マップ【原子力科学技術関連】

研究開発計画：大目標

安全性・核セキュリティ・廃炉技術の高度化等の原子力の利用に資する研究開発を推進する。さらに、将来に向けた重要な技術である革新的技術の確立に向けた研究開発にも取り組む。東日本大震災からの復興の障害となっている放射性物質による汚染等への対応が求められている。

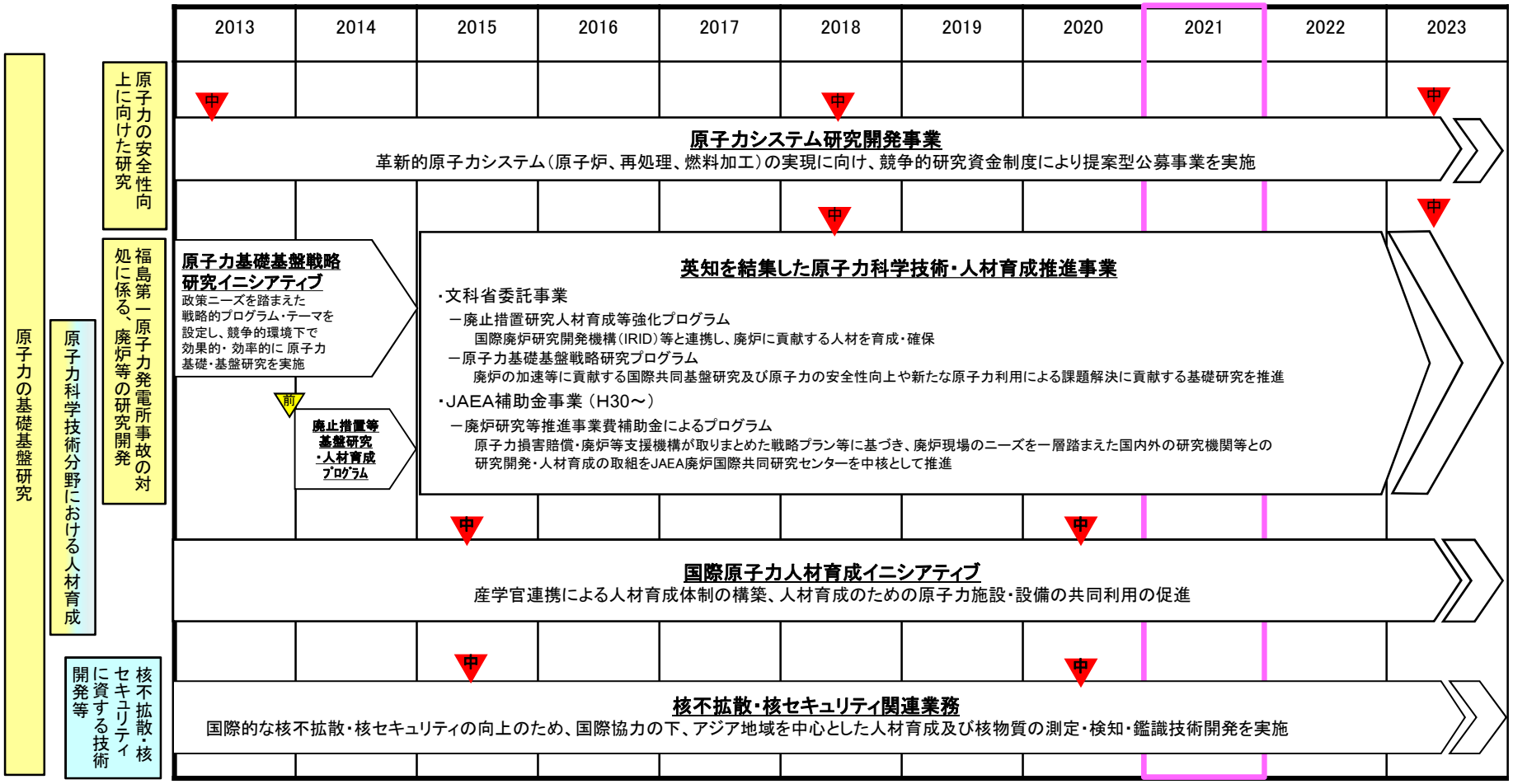
大目標達成のために必要な中目標

≪福島第一原子力発電所の廃炉やエネルギーの安定供給・原子力の安全性向上・先端科学技術の発展等≫

エネルギー政策や科学技術政策等を踏まえ、東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、廃炉や放射性物質による汚染への対策等に必要な研究開発を推進すること、及びエネルギーの安定供給や原子力の安全性向上、先端科学技術の発展等に資する研究開発成果を得る。

≪原子力分野の研究・開発・利用の基盤整備について≫

原子力に係る人材の育成・確保、核不拡散・核セキュリティに資する活動、国際協力の推進、電源立地対策としての財政上の措置などを通じ、原子力分野の研究・開発・利用の基盤整備を図る。



※国立研究開発法人が実施する研究開発は含まず

今年度審議する研究開発課題